

長 坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第19号
(令和4年1月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

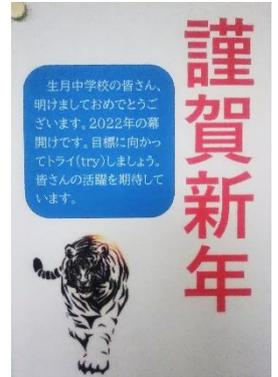
明けまして、おめでとうございます ～ 第3学期のスタートにあたって ～

例年より少し長い17日間の冬休みが終わり、第3学期がスタートしました。

始業式では、3学期は一年のまとめと次のステップへ向けて準備をする時期であり、自分なりの目標を持ち、充実した毎日を過ごしてほしいと話しました。特に、3年生には、希望の進路を実現するときであり、『受験は団体戦』という言葉のとおり、みんなで助け合い、励まし合って、全員が希望の進路を実現してくれるよう伝えました。また、2年生には、先輩たちが受け継いできた生月中学校の伝統を引き継いでいけるよう、1年生には、4月に入学してくる後輩の良なお手本となれるよう、一年のまとめと次のステップへ向けての準備をするよう伝えました。

保護者や地域の皆様には、今学期も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。令和4年が、皆様にとって素晴らしい一年でありますことをご祈念いたします。

(安村先生が職員室前に掲示してくれました。→)



生月中生徒会の伝統を引き継ぐ ～ 新生徒会役員・委嘱と生徒会引継ぎ式が行われました ～

12月の生徒会役員選挙をうけ、12月24日(金)に新生徒会本部役員・委嘱の任命式が、1月11日(火)に新専門委員長・委嘱と新旧役員・委嘱の引継ぎ式が行われました。引継ぎ式では、まず、旧役員・委嘱の退任あいさつがあり、一人ひとり、一年間の活動の思い出や、活動に協力してくれた全校生徒へお礼の言葉を述べました。次に、破戸旧会長から田淵新会長へ本校の校旗が手渡され、最後に、田淵新会長から、新役員を代表して、今後の活動への決意表明がありました。

旧役員のみなさん、一年間、本当にお疲れ様でした。コロナ禍にもかかわらず、日々の諸活動はもちろん、体育大会・生月文化の日などの学校行事、全校ボランティアや全校レクなどの生徒会行事など、昨年度以上に意欲的に活動していたと思います。本当にありがとう。この経験は、将来、必ずみなさんの大きな財産になると思います。

新役員のみなさん、先輩たちが受け継いできた生月中学校生徒会の伝統をしっかりと引き継ぎ、さらに、新たな取組にもチャレンジしてくれることを期待しています。全校生徒とともに、より良い生徒会活動を目指していきましょう！

【新本部役員】

○会長：田淵 一心(2年)、 ○副会長：永田 璃紗(2年)・白石 真央(1年)、 ○書記：外山 朝陽(1年)

【新専門委員長】

○学習図書委員長：神田 杏樹(2年)、 ○生活保健委員長：山本 海利(2年)、

○文化委員長：出口 奈知(2年)、 ○給食委員長：橋口 未和(2年)、 ○環境委員長：定永 大地(2年)



新たな変異株による感染拡大に備えて ～ 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を！ ～

感染力が非常に強い新たな変異株「オミクロン株」のため、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大しています。現在、長崎県の感染段階の目安も「レベル2-I」に引き上げられ、『警戒警報』が発令されています。

今学期の始業式でも、感染防止対策について、登校前の自宅での検温と体調確認、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、教室の換気などの徹底をお願いしました。また、万一、身近に感染者などが出た場合にも、決して差別や誹謗中傷をすることなく、相手の立場に立って、温かい眼差しを向けることもお願いしています。

ご家庭でも、これまで同様、できる限りの感染防止対策を行っていただくよう、重ねてお願いします。特に、毎朝の検温・体調確認については、生徒自身で行うよう指導していますが、声かけ等、保護者の皆様のご協力もお願いします。また、発熱や体調不良の場合には、登校させずに学校へご連絡ください。なお、県の指標が「ステージ」から「レベル」に改定されていますので、県の感染段階の目安に応じた学校の取組等の文書を、近日中に、再度、配付する予定です。

学校・家庭・地域、みんなで力を合わせて、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎましょう。